

—教育は社会を変える小さなプロジェクト—



令和7年度 彩の国さいたま国際協力基金

スリランカ北部 アヌーラダプラ地域における教育支援 ～教育は社会を変える小さなプロジェクト～

2025年8月15日

活動理念：**教育は社会を変える小さなプロジェクト**

活動歴：2016年より市民団体としてスタート、

草の根活動を10年以上

国内外で教育X国際協力を実践

2021年 グローバル賞受賞 埼玉親善大使拝命

埼玉、神奈川、山口、米ネブラスカ支部にて活動

現地メディア Kerney hubに取材 現地学生への日本文化教育へ大きく貢献した事が大きく取り上げ られる。Yahooニュースへも拡散

UNK students learn art of making Japanese Udon noodles and the etiquette of eating them

By TIFFANY STOIBER
Hub Staff Writer Apr 3, 2018 (0)



ネブラスカ大学にて

シカゴ Daily Herald 紙に掲載

現地高校生が記事を投稿現地での反響は高くメディアで取り上げられた



米国シャンバーク高校との連携
学生たち主体のワークショップ実施
現在も現地で継続



現地住民への日本文化教育の普及に貢献

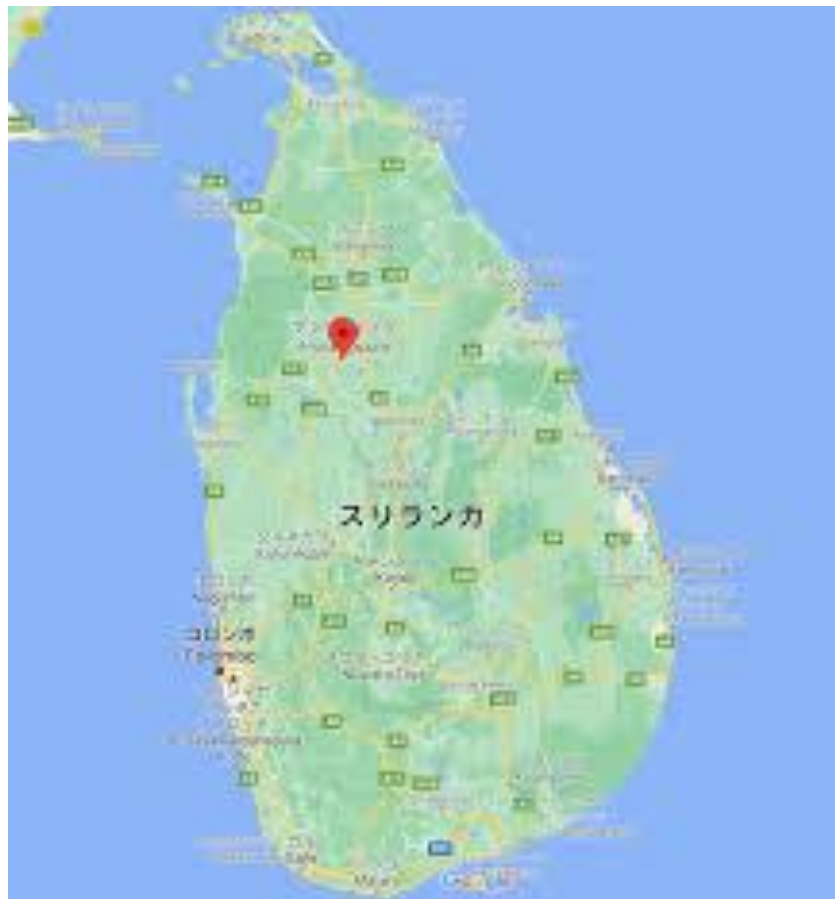




本事業の支援地域

アヌーラダプラ（スリランカ北部）

地域課題：教育機会の格差、貧困、英語力不足



- 1、オンラインによる放課後学習支援
AEAメソッド2言語教育、CLIL
- 2、教材及び文具の提供
- 3、子どもたちの主体的学びを支援
日米と3カ国で多文化共生 オンライン交流
- 4、現地との協働体制の構築

5月6日～ スリランカ現地入り支援活動5日間 子どもたちへ文具提供、
スリランカ住民との意見交換

6月18日 協力支援団体 オンライン顔合わせ 5時～

7月7日 ラジャルタ国立大学教授 オンライン会議 5時～

8月31日 スリランカ政府政治家 オンライン会議 5時～

9月15日 JICA 現地講師、スリランカ研修員による研修（3回）

9月23日 JICA現地協力隊によるオンライン研修 4時～

オンライン教育支援実施開始 （6回）毎週金曜日 6時～

- ICT機器の不足
資金不足 環境整備が必要
- 長期的な学習の継続支援の必要性
現地のスタッフ及び学生ボランティアを起用
自ら活動ができるまでを支援、国際協力、福祉の向上に貢献
- 継続性・将来性
行政、現地の高校や大学と連携
切れ目のない継続的かつ発展的な活動へ導く



教育は未来への大切な投資です。

次世代を担う人材育成を続けていきたい・・・

協力団体と支援してくださる方々と共に活動を継続していきたいです。

本日は、ありがとうございました。